教材研究ノート№3-A-12

④共同追究後半（思考を深める）

「先生の長さは，テープを3等分した3つ分だから，3/3ｍではないのか？」

→「1/3ｍは1ｍを3等分したもので，先生の長さを3等分した1つ分ではない。」

「分子が分母より大きくてもいいのか？」

→「1ｍより大きい長さは，もとにする分数を集めた数が1ｍを分けた数より多くなる。」

④共同追究前半（解法の比較検討）

「どちらの考え方にも共通していることは何だろう？」

→「1ｍを何等分したかを分母に，分子がそのいくつ分かになっていて，分子が分母よりも大きい数になっている。」

③個人追究:テープ図で単位分数を確認し，表し方を考える。

②学習課題:テープ図を使って，1ｍの何分の1のいくつ分になるか考えて，それぞれの長さを表そう。

⑤まとめ（児童生徒の言葉で）

・1ｍを等しく分けた1つ分がいくつ集まるかを考えて分数で表す。

・1より大きい数を表す分数は，分母より分子の数の方が大きい。

②見通し:1ｍより大きくて，分け方が違うから分からない。

→はしたが1ｍを何等分した長さかをもとにすればよい。

①本時を構想する上でポイントとなる素地

○問題解決のための知識・技能

・「1を何等分かしたものを何こか集めた数」という分数の意味と，分数での表し方を学習している。

○既習とつなぐ見方・考え方

・1ｍを何等分かした長さを新たに単位と見て，そのいくつ分かを調べる学習をしている。

・分数をはした大きさの表し方として学習している。

○共同追究でのゆさぶり

・1より大きな分数を表す経験は初めて。

○ゆさぶりに対応する経験

・2/3ｍは，1ｍの3分の1(1/3ｍ)が2つ分の長さと学習している。

1ｍ

先生

ゆうか

≪学習問題≫

先生とゆうかさんの両手を広げた長さを分数で表しましょう。

2ｍ

1ｍ

0

⑥定着･活用問題

(1)テープをもとにする分数に分け11/10ｍの長さに色をつけよう。

(2)1ｍと11/10ｍはどちらが長いか，説明しよう。

≪定着・活用問題≫

授業計画･実施記録

主眼

≪学習問題≫

＜本時の展開に当たっての留意点＞

・分数学習の初期において，分割分数と量分数で混乱する子どもが多く見られるので，表現された分数の意味を定義にもどって説明したり基準量に着目したりして，「単位分数のいくつ分」という見方が1より大きい量に拡張できることを理解させたい。

・紙テープを使って両手を広げた長さを写し取り黒板に提示したり，全員にテープを持たせたりして，操作しながら考えさせたい。